



HAMACHI



HIRAMASA



海遊 (完全予約制)
 (※水曜日※祝日を除く)
 ☎090-5268-4447
 (水曜日を除く9時~17時)



養殖漁業の将来見据え

阿多田島のフェリー棧橋に
 着くと渡船が待ち構えていま
 す。島に2カ所ある海上釣り
 堀への送迎の船です。フェリー
 を降りた釣り客は、それぞれの
 船に乗り込みます。探検隊
 も同乗させてもらいました。
 海上釣り堀は、文字どおり
 海に浮かぶ筏で釣りを楽しむ
 というもの。このスタイルは、
 県内ではここだけとか。

島を遊ぶ

▲大物を狙え！海上釣り堀の謎

た事業だといえます。同時に
 「島の活性化のため」とも釣り
 堀主任の佐伯康治さんは強調。
 確かにフェリーの乗客増に貢
 献しているような印象です。
 しかし、海上釣り堀は初め
 ての試み。先進地に習いに
 行ったり、開設するため許可
 を取ったりと苦労も多かった
 そうです。最初3基から始め、
 今では6基と筏を増やしてき
 たことから、人気の高さが
 うかがえます。

この日は、グループや家族連

れ、会社の釣り同好会一行など
 30人が太公望を狙います。広島
 市や東広島市から来たという
 常連客や、周南市、米子市か
 らのグループも釣り糸を垂れ
 ています。釣り道具もレン
 タルできるので、まったくの
 初心者でも安心です。今はタ
 イ、ハマチ、シマアジ、カン
 パチなどが放流されています。
 「お客さんのニーズに合っ
 た魚を入れるようにしていま
 す。今だとシマアジが人気」
 と佐伯さん。お客さんが釣る

と、待機している若い従業員
 たちが、素早くタモ網です
 くてサポート。日頃は水産
 加工場で働いており、繁忙時
 には釣り堀での勤務。島では
 若い人の働く姿を見受けます
 が、多くはそれぞれの会社の
 船で通ってくるのか。
 午後3時ごろになると活け
 締めしてくれ、釣果を詰めた
 クーラーボックスを携え、フェ
 リーの待つ棧橋に戻ります。
 釣り堀はみんなで楽しめる
 続いて探検隊が訪れたの



ら来た釣り仲
 間の一人は
 「尾道のほう
 には、こうい
 うのは無い
 し、釣り堀は
 グループで楽

は、11月で8年目に入った「海
 遊」。年間約5千人が釣りを
 楽しんでいるそうです。
 「養殖漁業の先行きを考え、
 養殖魚を買い取るとい形式で
 放流。釣り堀は、販路の一つ
 として始めた」と社長の宮下
 后さん。
 港から少し離れた内浦とい
 う湾内に4基の筏が浮かんで
 おり、「大漁丸」とは違った
 雰囲気味わえます。
 ヒラマサを釣った尾道市か



SHIMAAJI



KANPACHI

大漁丸 (完全予約制)

(休)火曜日※祝日を除く
 ☎090-5265-0101 (平日9時~17時)



小方港からフェリーで35分。島に近づくと入り江に
 回り込み阿多田島の棧橋に着岸。満員の釣り客らを送
 り出します。棧橋から阿多田島漁協のほうに歩いて行
 くと、道の脇に『あたたかい阿多田島』と彫られた石
 碑。温暖な気候から名付けられたともいわれる阿多田
 島。プラス島の人情も表しているのかもしれませんが。
 今回探検隊は、興味のおもむくままにそんな阿多田島
 を巡ってみることにしました。
 【取材 企画財政課】



まるごと阿多田だ。

▲あたたかい島あたたか島の謎▼



府中町から来た小学4年生の
 双子の兄弟、島岡拓哉さんと
 拓海くんは力を合わせタイを
 釣り上げて満足げな様子。





道を一步ずつ踏みしめます。最年長87歳の参加者、後藤晃正さん（白石）が達者な足取りで進んで行くのとは対照的に運動不足の探検隊は、少し息が荒くなってきました。何とか遅れを取らないようにと必死。リーダーが休憩を挟んでくれて、ほっとひと息。もうひと踏ん張りして、標高204mの頂上に到達。登山口からはおよそ30分でしたが、満足度は☆☆☆。わずかな平地には、二等三角点の標識があり、みんなそろって記念撮影。

樹木で視界がさえぎられ、360度パノラマとはいきませんが、養殖筏の浮かぶ海を眼下にしたプチ絶景が楽しめます。

「海に見える山は開放感があった」と、山登りの猛者たちの評価も上々。



脚はガクガク、でも満足
ここからは下りです。登りは、そこまで険しい道ではなかったのですが、こちらは思いのほか急峻。慣れない探検隊は、滑らないようにと思いつき、変なところに力が入って途中から脚はガクガク。後日、自分しやがむのがつらい状態でした。景色を楽しむ余裕もなく、それでも麓まで無事生還。登り終えた参加者からは、「緩急あって楽しい山」という声も耳にしました。

阿多田島唯一の頂を極めた探検隊もそんな思いを抱いたのでした（笑）。

秋の好天に恵まれた10月15日、探検隊はアゼリアおたけ主催の自主事業「大竹の低山を楽しもう！」の参加者とともに阿多田島の山登りに挑戦しました。日頃運動不足の探検隊ですが、山登りといっても低山というくらいだから大丈夫だろうと、軽い気持ちで同行したわけです。

目指すのは島の最高峰、その名も「高山」。しかし、この山は近年登山道に樹木やシダが生い茂り、登ることが困難だったといえます。それを島の有志がボランティアでコツコツと整備し、登山道を復活させたそうです。

観音像の伝説の山

棧橋からほど近い阿多田島神社横の道路からスタート。「海の家あた」や「阿多田島灯台資料館」へと続く道です。坂道の上ると阿多田の港や集落が一望できます。しばらく行くと左手に「観音山入口」という立て札。まずはこちらの山から制覇します。標高およそ100mの山頂にたどり着くと、小さな観音堂がありました。江戸時代初期に玖波村の漁師が、

長崎県平戸の沖合で網にかかった観音像を持ち帰り、夢のおつげにより、この山にまつたという言い伝えがあるそうです。ここからは、大黒神島との間にある安芸白石灯標や瀬戸内海を望むことができます。

下山し灯台資料館に向かった一行は、そこから海岸へと下りて行き、波打ち際の岩に腰掛け、穏やかな瀬戸内海の波音をBGMに昼食です。

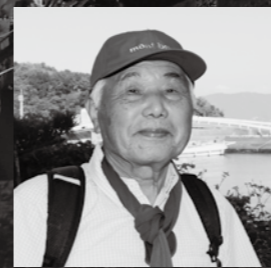
いざ最高峰へ

腹ごしらえが済むと、いよいよ高山を目指します。来た道を少し戻ったところが、「高山登山口」です。比較的緩やかな



島を歩く

阿多田島最高峰を目指す。
◀高山登山道の謎▶



後藤晃正さんは、3年前に『大竹山の会』に入会。月2回程度山に登っています。日頃は自宅近くを歩いてトレーニング。高山は初登頂。

阿多田島灯台資料館



昭和53年まで現在の安芸白石灯標を管理する職員官舎として使用されていた。平成8年に国の登録有形文化財となり、現在は市が資料館として公開。見学は要予約。（棧橋から徒歩約20分）

問い合わせ
生涯学習課 ☎53-6677



資料館下の海岸は岩礁と砂浜。

登山道整備で島の魅力マシマシに



味のある文字の手作り看板。



登山道には手作りベンチ。



島に人を呼び込みたい。谷貴俊さん（右）と亮次さん兄弟。

登 山道を整備したのが、谷貴俊さん（34歳）の兄弟ら島の若手？4、5人のグループです。元々、海の掃除などをしてきたそうですが、「山登りを始めたことをきっかけに、トレーニングできるような高山の登山道を整備することにしました」と亮次さん。小学校跡地の先から山道（探検隊が下山した道）があったらしいのですが、荒れて通れない状態だったとか。

「昨年の一月に作業を開始。1日でざっと草を刈りました。が、死ぬかと思った」というほど急坂での作業は大変だったと2人は声をそろえます。それでも「何回か続けていくうち、少しずつ道幅も広がっていききました」。

一方、今回探検隊が登りて歩いたほうは、登山道という

ようなものではなく、畑を作っていたころの名残らしきもの。

「何となくここかなと思うところを探りながら、木を切ったりして徐々に登山道を作っていった」といいます。

「草刈り機などの道具を持って上り下りするのが結構きつかった。3カ月くらい経ったころ何とか形になってきました。苦労した様子を振り返る2人です。

そんな活動が新聞記事になったり、高山が山登りのアプリで紹介されたりしたこともあり、少しずつ訪れる人もあつたと2人は喜びます。

「今のところ山頂からの視界は限られていますが、いずれは360度見えるようにしたい」。島の魅力増への意気込みを語ってくれた2人でした。



谷さんのご自宅は瀬戸内海が望めるオーシャンビュー。

「業務用スーパーによく行くようになった」と高杉さん。とにかくストックが無いと不安だ。

子どもたちも好物であろうピザもちょっとしたぜいたく。「宅配ピザが頼めないんです。1回頼んだことがあったけど、フェリーで運ばれて来るまでに、すっかり冷めてしまつて」と谷さんは苦笑。

食べ物のことでは、こんな変化があったと高杉さん。「私、魚もカキもだめだったんですが、魚が食べられるようになりまし。こんなにおいしいものだったんだと。子どもも刺身がだめだったのが、めっちゃ食べるようになった」と。魚も少しさばけるようになったそうです。

「夫は漁師で島に住んでいました。私は広島市に住んで働いており、夫が通ってくる週末婚をしていました。やがて子どもが生まれて仕事は辞め子育てをしていたのですが、子どもと二人きりの生活に寂しさがつのり、ここで究極の選択をすることに。このまま一生別れて暮らすか、私が島へ行くか」。

なかなかの展開に息をのむ探検隊です。

一緒に暮らしたほうがいいのか、タイムングよく元の小学校の教員住宅が売りに出ています。

「それって不便と思うか、意外と大丈夫と思うかは人それぞれ。それでもそれに勝る魅力が島の暮らしにはあります。」

子育ては地域密着型。高杉さんの夫の勤め先の水産会社の人からは「めし食いに来い」「ビールあるけん上がれや」と誘ってくれたことで、初めての島暮らしも寂しさは感じなかったとい。見ぶつきらばうで、強い言い方の島の人たち。悪気があるわけではなく、家族のようなもの。強く言われても心が折れるようなことはない関係性を感じているようです。

「それでも慣れるまで5年はかかった」と、お二人は笑いながら共感していました。

それは子育てにも通じるよう地域密着型。島全員で子育てしてくれているのだとい。誰も子どもを育ててくれるように。そんな雰囲気と自然に囲まれた伸び伸びとした生活が、子育てには最適だと声をそろえます。2人と4人のお子さんのお母さん。子育て真っ最中のお二人は「阿多田に

阿多田島市有地分譲中

問い合わせ 監理課 ☎59-2161

| 区画番号 | 地番(阿多田) | 面積(m ²) | 価格(円) |
|------|-------------|---------------------|-----------|
| 1 | 2番9 4番5 | 182.50 | 3,244,103 |
| 2 | 2番11 | 187.47 | 3,210,536 |
| 3 | 2番12 | 187.41 | 3,209,553 |
| 4 | 2番13 4番3 | 187.23 | 3,206,605 |
| 5 | 2番14 4番4 | 187.28 | 3,207,424 |

詳しくはこちらの市ホームページを探索してください。



価格には、下水道分担金(139,778円)が含まれています。



洲上アナウンサーとハイタッチ。大はしゃぎの子どもたち。

9月9日、阿多田保育園にビノキ造りの滑り台がやって来ると聞いた探検隊は興味津々。どうやらRCCのテレビ番組『イマナマー』のコーナー『洲上沙紀のBUSUBUTSU』からのプレゼントだそうです。このコーナーは、わらしべ長者のように物々交換をし、毎回の鑑定額の合計が20万円に達するとプレゼントするというもの。

今回の滑り台は、以前子どもがここに通っていたという浜本かずみさんが応募。見事阿多田保育園が当選したため、アナウンサーの洲上さんが、届けてくれました。

品を運んで組み立てると、子どもたちは大喜びです。社会福祉協議会が運営している阿多田保育園には、現在園児は2人。小さな保育園ですが、滑り台があることで、島の小学生や祖父母のところへ帰省した子どもたちが、遊びに来てくれることを願って応募したという浜本さん。

実際、今も学校帰りの子どもたちが保育園に立ち寄り遊んでいて保育士さんが話していました。

「滑り台が阿多田のことを知ってもらうきっかけになり、みんなとの懸け橋となれたらうれしい」。浜本さんはそう話してくれました。

島の懸け橋

▲保育園にやって来た滑り台の謎

「夫は漁師で島に住んでいました。私は広島市に住んで働いており、夫が通ってくる週末婚をしていました。やがて子どもが生まれて仕事は辞め子育てをしていたのですが、子どもと二人きりの生活に寂しさがつのり、ここで究極の選択をすることに。このまま一生別れて暮らすか、私が島へ行くか」。

なかなかの展開に息をのむ探検隊です。

一緒に暮らしたほうがいいのか、タイムングよく元の小学校の教員住宅が売りに出ています。

島で暮らす



「阿多田に嫁いで来る人は精神的にも強い。沖繩的というか、なんくるないさ」みたいな人が多いような印象」と高杉さん。おじちゃん、おばちゃんとも平気で話せるコミュニケーション能力の高い人が島向きかともいいます。

いや、それってハードル上げてませんか、と若干心配になる繊細な探検隊です。

冷蔵庫は2台持ち

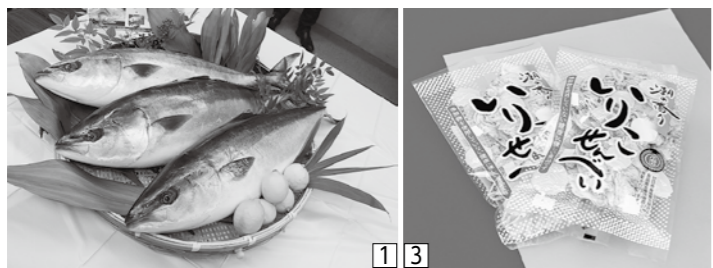
さて、気になるのが日々の暮らし。

暮らします。島に個人商店が1軒。買い物とかはどうしているのかなと思つて尋ねてみました。

廿日市市に住んでいた谷さんは、結婚と同時に島暮らしを始めました。そもそも阿多田は山口県だと思つていたという、こちらも情報不足。それまでの生活スタイルと大きく違ってきたことに、ちょっとした驚きがあったようです。

「実家ではスーパーに行つてから、今日はこれが安いから夕飯は何にしようかと決めていました。でも、こちらではまず一週間分のメニューを考えてから、フェリーで買い物に行きます」。そのため、阿多田では冷蔵庫2台持ちは当たり前。夫の実家では冷蔵庫も含め3台あるのだそうです。いや驚きました。置く場所が大変そうです。おまけに夏は、クーラーボックス9個分ほどの買い出しで、みんなにジロジロ見られたりもするとか。

「移動販売が水曜日に来るので、利用する人は、それを挟んで3〜4日分をスーパーで買うみたい」。いずれにしても大型冷蔵庫は必需品のよ



1 3



2

阿多田産の大竹生まれ商品

令和2年度にできた制度で、市内で作られる商品で、一定の条件を満たすものを登録することで、商品の魅力や認知度の向上を図り、市の経済活性化に寄与する目的で創設したもの。

【①あたたハマチ to レモン】

阿多田島漁協と高知大学が共同開発したフルーツ魚。レモン果汁の餌で育てることで、食べやすくおいしいと高評価。

【②煮干しいりこ】

阿多田島近海で取れたカタクチイワシを塩ゆでし乾燥させた自然食品。

【③いりこせんべい】

煮干しいりこをせんべいにしたもの。カルシウムたっぷり、子どもから高齢の方でも食べやすい食感。



大竹生まれ商品一覧表は、こちらから検索。(11月現在33品目登録)



んが、計算すると約1万4千尾になります。それでも分かったような分からないような結構な量です。大竹市内のほか広島市、廿日市市が給食で使ったというから驚きます。ちなみに大竹市内の小中学校では約1900食が子どもたちの胃袋に収まりました。

タイのチカラにビックリ

この日のメインディッシュは、『あたたマダイの天ぷら』。ほかにも『磯香あえ』には阿多田産ちりめん、『みそ汁』

は阿多田産いりこだしを使った阿多田づくしの給食でした。「タイの味がよく分かるように天ぷらにしてみました。おいしさを損なわないよう揚げる温度も微調整しました」とおいしく食べてもらえるようにと、工夫の一端を話してくれた香川さんです。配膳が済むと「いただきます」と一斉に食べ始めます。阿多田から通っている2年生の若松伊吹己くんは「釣りもするし、魚もよく食べる。家

ではモリモリくんと呼ばれています」。さすが阿多田っ子。6年生の岩井陽太くんは「脂がのってる」とパクリ。「タイの素材のチカラにビックリ。残菜が全く出ませんでした。阿多田すごい！」と香川さんは感嘆の声。年明けには『あたたハマチ to レモン』も献立として考えているようで、今から楽しみで、今回試食するの忘れてました。残念。



◀阿多田産のうまいもんの謎▶

島を味わおう



珍しいタイ料理 10月24日のお昼、給食の準備であわただしい小方小学校に潜入した探検隊。というのも今日の給食は、阿多田産のマダイを使った料理だからです。給食の献立を考えたりする栄養教諭の香川里美さんによると、「給食でタイを使うのは珍しい」といいます。限られた予算の中では、なかなか手が届かない食材で、今回子どもたちに提供できたのは、国のコロナ対策の事業によるものだそうです。それ何？

コロナ禍の影響を受けている農林水産業者や食品加工業者などへの新たな販路の取り組みへの支援を目的とした『国産農林水産物等販路新規開拓緊急対策事業』という長い名前の制度を活用して、阿多田島漁協が出荷したマダイを使ったこと。 「コロナで飲食業などの需要が減り、餌代も上がっていることも考慮して、この制度を利用しました」と阿多田島漁協参事の湊修さん。

「養殖業者3件が、約1.5kgのタイを21トン出荷しました」。21トンって言われてもどれくらいの量かピンときませ

島をクリーン

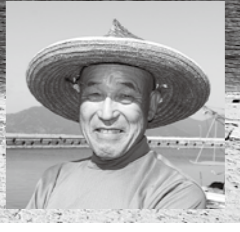
▲海洋ごみ清掃の謎▶

海 岸べりをぶらぶら歩いてきた探検隊は、麦わら帽子の男性に呼び止められました。「まあこっちに来てみんさい」と連れられて行く。砂浜に打ち上げられたごみが集められていました。男性は清水正光さん。阿多田の生まれで、今は広島市佐伯区に住んでいるそうです。週1〜2回島の生家にやっ来て、こうしてごみの清掃をしているといいます。

きっかけは10年くらい前にラジオで愛媛の女の子が、広島からと思われるごみが海岸に流れ着いてくることを嘆いたことを聞いたからだと話してくれました。

「島を出てから長い、生まれ故郷はええ」。しみじみと言った表情に明るい日差しが降り注ぎます。

この人だけでなく、誰に言われるでもなく、島をきれいにする人は多くいると、別の機会にも聞いた探検隊です。



か

つて海水浴場だった長浦海岸。自然災害などで人の行き来が困難になり、砂浜には漂着した大量の大型プラスチックごみが放置されたままになっていました。日本財団と瀬戸内4県が共同で、立ち入り困難な離島海岸の漂着ごみを一掃するプロジェクト第3弾が、11月17日に実施されました。県、市、阿多田島漁協、漁業者などが協力し清掃を行う一大作戦という事で、探検隊は現場へと向かいました。

晴海臨海公園での開会式を終え、約200人の参加者は複数の船に分乗して長浦海岸へ。そこは海水浴場の面影は無く、おびただしい量の大型ごみの山。

め、湯崎英彦県知事、入山市長らも、発泡スチロール製のフロートを送りに運びます。遠方から来た人気アニメのコスプレイヤーたちも参加。袋を持ってごみを拾っていきま。でもなんでコスプレ？

約1.2トンのごみは特殊車両で船に積み、減容機で圧縮して運搬。

漁協の川原秀正組合長は、「高齢化が進む島では、費用面でも人的な面でもできなかった。こうした取り組みに感謝しています」と話していました。

作業が終われば、また昔の砂浜がよみがえるでしょう。また海水浴場にならないかな、などと妄想する探検隊でした。

※この模様は令和5年1月10日(火)朝の9時55分からRCCテレビで放送予定。



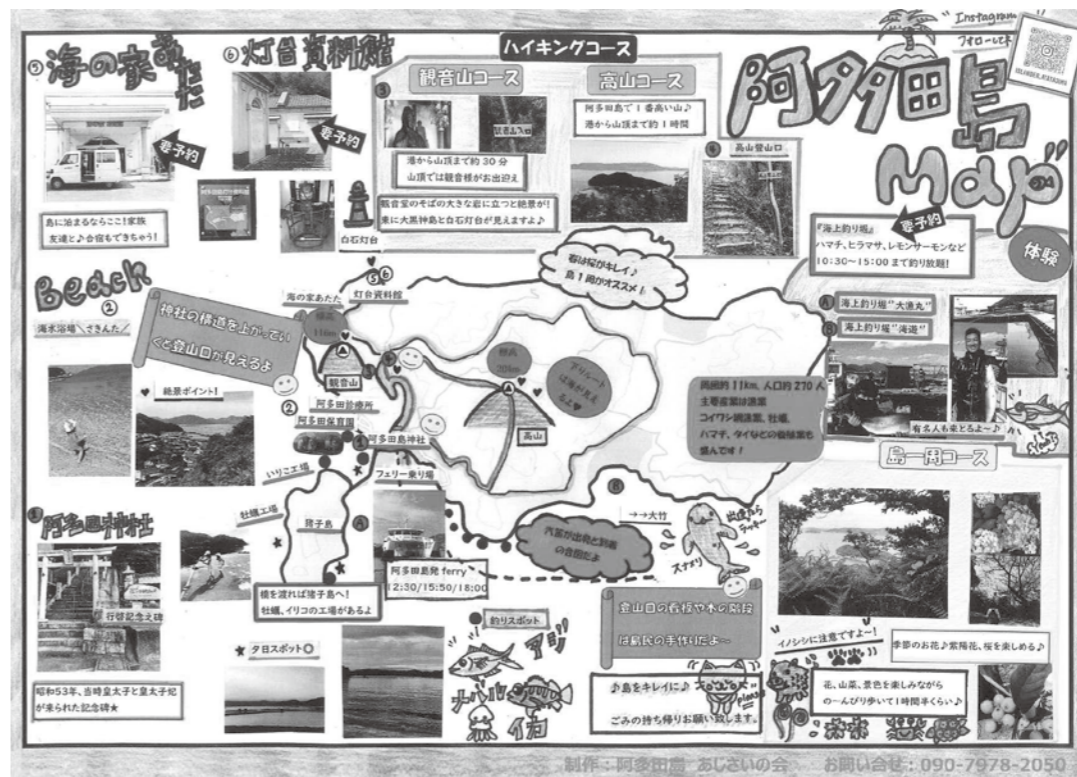
今回の一掃作戦のキャクター「オイスクリーン王子」



笹川会長(右)湯崎知事(中央)入山市長(左)も作業に参加して汗を流します。

島を発信

▲魅力アップ・マップの謎▼



※Instagramでも発信中。islander_atajimaで検索。

フリーや小方港待合所に貼られている「阿多田島MAP」。この地図を作ったのが、8ページで登場していた高杉涼子さん。「瀬戸内海を売りにしている広島県。だったら阿多田も何かできないかと思ったから」と言いつつ、実際は、あるブログに「阿多田は何も無い。つまらん」と書かれたのを見て、はつぷんしたというのが本音のようです。見どころいっぱいの手描きの地図がいい味を出しています。「手描きが島っぽい」と高杉さんは笑います。置いてもらった地図は、すぐに無くなるほどの人気。島を訪れてほしいと思う反面、「残念なのは、島に来て食べるどころや土産を買うところが無いこと。鮮魚やカキなどを期待して来るけど...」。でも、観光地化されていないところがいいと、独自の魅力を模索しているようでした。

お得な特別メニューを提供 飲食店等応援イベント プレミアム おおたけバル 開催

問い合わせ
大竹商工会議所 ☎523105



大竹商工会議所
ホームページを検索

1組3枚つづりのバルチケットを購入すれば、参加店が創意工夫したお得な特別メニューなど（1200円相当）が提供されます。期間中にバルチケットを使いきれなかった場合は、参加店で700円の金券として使える「後バル」も 있습니다。

実施期間(チケット使用可能期間)

令和5年1月10日(火)～2月10日(金)

販売期間

12月15日(木)～令和5年2月10日(金)

販売数 2500組
※無くなり次第販売終了。
販売額 2100円(1組3枚つづり)

販売場所

- 大竹商工会議所
- ゆめタウン大竹
- アゼリアおおたけ(日&Cおおたけ)

後バル期間

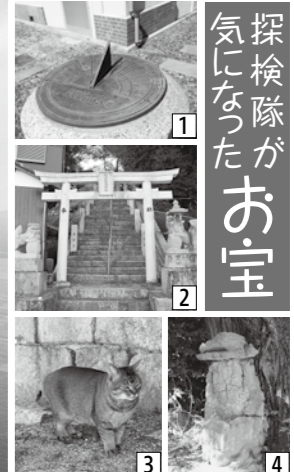
令和5年2月16日(木)～23日(木・祝)

※詳しくは、大竹商工会議所のホームページをご覧ください。

あたたかい島それがあたたか愛ランド

住民基本台帳人口239人、125世帯(令和4年11月1日)
面積2.41平方km・周囲11.0km 堤防でつながっている猪子島(周囲1.6km)

阿多田島に何度か渡ってみたい探検隊。タイトルに『まるごと阿多田』と打ち上げたものの十分なものにはなっていないと実感している探検隊です。自然の良さも出会った人も魅力ある島である一方で、高齢化、漁業の先行き、米軍機の騒音問題など課題や問題も多くあります。さらっと見て来ただけで、探検と呼ぶにはほど遠いかもしれませんが、そうだと思った方は、ぜひご自身で阿多田島を訪ねてみてはいかがでしょうか。



探検隊が気になったお宝
①灯台資料館の日時計。②阿多田神社のこま犬は明治11年奉納。③かつては、ねこの島と呼ばれたが、今はあまり見かけなくなった。④稲荷神社の境内の不思議な形の石。

ROKUMEIKAN 鹿鳴館

タイムスリップダンスホール

～KUBAジルバ～

問い合わせ 玖波公民館 ☎57-7084

パーティーに向けたレッスンを
ソーシャルダンス初心者入門

新しい体験をしてみましよう。スポーツ感覚で踊りましょう。クリスマスやジルバパーティーに向けたレッスン開催。

とき 12月3日(土)・17日(土)10時30分～12時
ところ 玖波公民館

問い合わせ
玖波公民館 ☎577084

今年のクリスマスBIG企画。みんなでタイムスリップ！明治維新・西洋文化の流入・社交ダンスなど。ちよつと不思議な社交場を演出します。地域みんなで、ふれあい、楽しましよう。海外遠征された話題のシェフも登場します。

とき 12月25日(日)13時30分～15時30分
ところ 玖波公民館
定員 50人程度(申込順)
参加料 2000円(実費材料代)
アトラクション
○話題のシェフ池田将訓さん(うお池)の講座
○ダンスタイム
○演奏
○プレゼント交換(各自500円程度の品持参)
申し込み 12月1日(木)から玖波公民館へ。

講師 岡村 修さんほか(社交ダンス講師)
内容 ジルバやブルースを分かりやすく学びましよう。初心者、経験者どなたでもオッケーです。
定員 20人程度(申込順)
申し込み 12月1日(木)から玖波公民館へ。